

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成28年9月23日 (2016.9.23)

【公表番号】特表2015-528338(P2015-528338A)
 【公表日】平成27年9月28日 (2015.9.28)
 【年通号数】公開・登録公報2015-060
 【出願番号】特願2015-529032(P2015-529032)
 【国際特許分類】

A 6 1 N 5/06 (2006.01)

A 6 1 N 5/067 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 N 5/06

A 6 1 N 5/06 E

【手続補正書】
 【提出日】平成28年8月4日 (2016.8.4)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

2 つのみのランプモジュールを備え、それぞれのランプモジュールは L E D の 2 次元アレイを備え、前記ランプモジュールのそれぞれは前記 2 つのランプモジュールが実質的に同じ平面内で互いに実質的に平行な方向に向き付けられる第 1 の位置と前記ランプモジュール間の角度が 5 0 ~ 7 0 度である第 2 の位置との間で移動可能であるように構成される光線力学療法用ランプ。

【請求項 2】

前記第 1 の位置において、前記ランプモジュール間の角度は 1 5 7 ~ 1 8 0 度である請求項 1 に記載の光線力学療法用ランプ。

【請求項 3】

前記ランプモジュールのそれぞれは、前記第 1 の位置と前記第 2 の位置との間に画成される範囲内のみ移動可能であるように構成される請求項 1 または 2 に記載の光線力学療法用ランプ。

【請求項 4】

前記光線力学療法用ランプが使用中の場合、前記ランプモジュールと患者の処置領域との間の距離は、約 5 ~ 約 8 c m までである請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の光線力学療法用ランプ。

【請求項 5】

前記ランプモジュールは、前記ランプモジュールを前記第 1 および第 2 の位置に係止するように構成された係止要素を備える請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の光線力学療法用ランプ。

【請求項 6】

移動可能な基部、および前記 2 つのランプモジュールを前記基部と移動可能に接続する支持アームをさらに備える請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の光線力学療法用ランプ。

【請求項 7】

それぞれのランプモジュールは、光学窓を有するハウジングを備え、前記ハウジング内には、L E D の前記 2 次元アレイ、L E D の前記アレイが装着されている基板、ヒートシ

ンク、ＬＥＤの前記アレイを冷却するように構成されている冷却ユニット、および少なくとも１つのドライバモジュールが設けられる請求項１～６のいずれか一項に記載の光線力学療法用ランプ。

【請求項８】

前記少なくとも１つのドライバモジュールからの電流は可変であり、固定された照射時間内に設定光線量の送達条件を動作時に満たすように適合される請求項７に記載の光線力学療法用ランプ。

【請求項９】

動作しているときに、前記ＬＥＤの発光出力は、前記冷却ユニットにより温度を制御することによって一定に保たれる請求項７または８に記載の光線力学療法用ランプ。

【請求項１０】

前記光線力学療法用ランプが使用中の場合、前記ランプモジュールと患者の処置領域との間の距離は、５～８ｃｍまでであり、

ＬＥＤの前記アレイの放射照度は、 $30 \sim 150 \text{ mW} / \text{cm}^2$ である請求項１～９のいずれか一項に記載の光線力学療法用ランプ。

【請求項１１】

前記ＬＥＤは、コリメートＬＥＤである請求項１～１０のいずれか一項に記載の光線力学療法用ランプ。

【請求項１２】

前記第１の位置の角度は、 $163 \sim 172$ 度である請求項１～１１のいずれか一項に記載の光線力学療法用ランプ。

【請求項１３】

動作しているときに、ＬＥＤの前記アレイのそれぞれのＬＥＤは、 $632 \text{ nm} \pm 5 \text{ nm}$ の公称波長の光を放射する請求項１～１２のいずれか一項に記載の光線力学療法用ランプ。

【請求項１４】

請求項１～１３のいずれか一項に記載の光線力学療法用ランプを使用する座瘡の光線力学処置に使用される組成物であって、前記組成物は５－ＡＬＡエステルまたはその塩を含む組成物。

【請求項１５】

前記５－ＡＬＡエステルは、５－ＡＬＡメチルエステルである請求項１４に記載の組成物。